

花き類

適用病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法(記載無は散布) 使用時期/使用回数
うどんこ病	花き類・観葉植物	<a href="#">アリーセーフ</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">-</span>	600倍	-/-
		<a href="#">アフェットフロアブル</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">7</span>	2,000倍	発病初期/3回
		<a href="#">エコピタ液剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">-</span>	100~200倍	発生初期/-
		<a href="#">カリグリーン</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">NC</span>	800倍	発病初期/-
		<a href="#">サンクリスタル乳剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">-</span>	600倍	-/-
		<a href="#">ショウチノスケフロアブル</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">U13</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">9</span>	2,000倍	発病前~発病初期/2回
		<a href="#">パチスター水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">BM2</span>	1,000倍	発病前~発病初期/-
		<a href="#">パレード20フロアブル</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">7</span>	4,000倍	発病初期/3回
		<a href="#">パンチョTF顆粒水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">U6</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">3</span>	2,000倍	-/2回
		<a href="#">モレスタン水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">M10</span>	2,000~3,000倍	発病初期/10回
	花き類・観葉植物(除ばら)	<a href="#">アンビルフロアブル</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">3</span>	1,000倍	発病初期/7回
	ばら		1,000~2,000倍	発病初期/7回
	花き類・観葉植物(除ばら)	<a href="#">アグロケア水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">BM2</span>	1,000倍	発病前~発病初期/-
	ばら		1,000~2,000倍	発病前~発病初期/-
	花き類・観葉植物(除ばら、ペチュニア、スターチス、プリムラ、パンジー)	<a href="#">サンヨール</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">-</span>	500倍	発生初期/8回
	ばら		500~1,000倍	発生初期/8回
	ペチュニア、スターチス、プリムラ、パンジー		500倍	開花前まで/8回
	花き類・観葉植物(除チューリップ、ゆり、りんどう)	<a href="#">ダコニール1000</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">M5</span>	1,000倍	-/6回
	花き類・観葉植物(除ばら)	<a href="#">トリフミン水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">3</span>	3,000倍	発病初期/5回
	ばら		3,000~5,000倍	発病初期/5回

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

—花き類—

適用病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法(記載無は散布) 使用時期/使用回数
株腐病	花き類・観葉植物	<a href="#">リゾレックス水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span>	500~1,000倍	土壌かん注(3L/m <sup>2</sup> ) 生育期/5回
菌核病	花き類・観葉植物	<a href="#">トップジンM水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span>	1,500倍	—/5回
茎腐病	花き類・観葉植物	<a href="#">オーソサイド水和剤80</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">M</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span>	600倍	—/8回
		<a href="#">リゾレックス水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span>	500~1,000倍	土壌かん注(3L/m <sup>2</sup> ) 生育期/5回
黒斑病	花き類・観葉植物	<a href="#">ポリオキシシンAL水溶剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">9</span>	2,500倍	発病初期/8回
白絹病	花き類・観葉植物	<a href="#">モンカットフロアブル40</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">7</span>	1,000~2,000倍	株元散布 —/3回
		<a href="#">リゾレックス水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span>	500~1,000倍	株元かん注(3L/m <sup>2</sup> ) —/5回
		<a href="#">バスアミド微粒剤</a> <a href="#">ガスタード微粒剤</a> 劇 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">—</span>	20~30kg/10a	所定量を均一に散布して 土壌と混和する。 (XⅢ土壌消毒 参照) は種または植付前/1回
立枯病	花き類・観葉植物	<a href="#">オーソサイド水和剤80</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">M</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span>	600倍	—/8回
		<a href="#">リゾレックス粉剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span>	50kg/10a	土壌混和 定植前/1回
		<a href="#">リゾレックス水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span>	500~1,000倍	土壌かん注(3L/m <sup>2</sup> ) 生育期/5回
		<a href="#">バスアミド微粒剤</a> <a href="#">ガスタード微粒剤</a> 劇 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">—</span>	20~30kg/10a	所定量を均一に散布して 土壌と混和する。 (XⅢ土壌消毒 参照) は種または植付前/1回
立枯病 (リゾクトニア菌)	花き類・観葉植物	<a href="#">ユニフォーム粒剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span>	18kg/10a	土壌表面散布 定植時または生育期 /3回
		<a href="#">キルパー</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">—</span>	原液として 60L/10a	所定量の薬液を土壌表面に 散布し、直ちに混和し被覆する。 は種または定植の15日前 /1回
苗立枯病	花き類・観葉植物	<a href="#">オーソサイド水和剤80</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">M</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4</span>	600倍	—/8回

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

—花き類—

適用病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法(記載無は散布) 使用時期/使用回数
灰色かび病	花き類・観葉植物	アフェットフロアブル 7	2,000倍	発病初期/3回
		ゲッター水和剤 10 1	1,000倍	—/5回
		セイビアーフロアブル20 1 2	1,000倍	発病前～発病初期/4回
		チオノックフロアブル M3	500倍	発病初期/6回
		ピクシオ DF 1 7	2,000倍	発病初期/4回
		ファンタジスタ顆粒水和剤 1 1	3,000倍	発病初期/5回
		フルピカフロアブル 9	2,000～3,000倍	発病初期/5回 ※1
		ポリオキシンAL水溶剤 1 9	2,500倍	発病初期/8回
		ボトキラー水和剤 BM 2	10～15g/10a/日	ダクト内投入 発病前～発病初期/—
花き類・観葉植物 (除ペチュニア、 スターチス、プリムラ、パンジー)	サンヨール —	500倍	発生初期/8回	
		500倍	開花前まで/8回	
アオムシ	花き類・観葉植物	オルトラン水和剤 1 B	1,000倍	発生初期/5回
アザミウマ類	花き類・観葉植物	アグリメック 劇 6 ※2	500倍	発生初期/5回
		アフーム乳剤 6	2,000倍	発生初期/5回
		オルトラン水和剤 1 B ※2	1,000～1,500倍	発生初期/5回
		オンコル粒剤 5 1 A	6kg/10a	株元散布 生育期/3回
		スピノエース顆粒水和剤 5	5,000倍	発生初期/2回
		ダブルシューターSE — 5	1,000倍	発生初期/2回
		ダントツ水溶剤 4 A	2,000～4,000倍	発生初期/4回
		ディアナ SC 5	2,500～5,000倍	発生初期/2回
		ハチハチフロアブル 劇 2 1 A	1,000倍	発生初期/4回
	モスピラン顆粒水溶剤 劇 4 A	2,000倍	発生初期/5回 ※1	
花き類・観葉植物 (除きく)	ジェイエース水溶剤 1 B	1,000倍	発生初期/5回	
きく		※2 1,000～1,500倍		

※1 りんどうのみ散布液量が異なるので注意

※2 オルトラン水和剤、ジェイエース水溶剤の成分アセフェートの総使用回数は5回以内

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

－花き類－

適用病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法(記載無は散布) 使用時期/使用回数	
アブラムシ類	花き類・観葉植物	<a href="#">アクタラ粒剤</a> 5 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4 A</span>	6kg/10a	株元散布 生育期/1回	
		<a href="#">アディオン乳剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">3 A</span>	2,000~4,000倍	発生初期/6回	
		<a href="#">エコピタ液剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">-</span>	100倍	発生初期/ー	
		<a href="#">オルトラン水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1 B</span> ※2	1,000~1,500倍	発生初期/5回	
		<a href="#">コルト顆粒水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">9 B</span>	4,000倍	発生初期/4回	
		<a href="#">スタークル顆粒水溶剤</a> <a href="#">アルバリン顆粒水溶剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4 A</span>	2,000~3,000倍	発生初期 /5回	総使用 回数 5回以内 (土壤混 和は1回 以内)
		<a href="#">スタークル粒剤</a> <a href="#">アルバリン粒剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4 A</span>	1g/株 (30kg/10a まで)  20kg/10a	植穴土壤混和 定植時/1回  株元散布 生育期/5回	
		<a href="#">ダントツ水溶剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4 A</span>	2,000~4,000倍	発生初期/4回	
		<a href="#">ダントツ粒剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4 A</span>	6kg/10a  1~2g/株	生育期株元散布 発生初期/4回	総使用 回数 4回以内
		<a href="#">チェス顆粒水和剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">9 B</span>	5,000倍	発生初期/4回	
	<a href="#">モスピラン顆粒水溶剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4 A</span> 劇	2,000~4,000倍	発生初期/5回 ※1		
	花き類・観葉植物 (除きく、ばら)	<a href="#">ジェイエース水溶剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1 B</span> ※2	1,000倍	発生初期/5回	
	きく、ばら	1,000~1,500倍			
	花き類・観葉植物 (除ペチュニア、 スターチス、プリムラ、パンジー)	<a href="#">サンヨール</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">-</span>	500倍	発生初期/8回	
ペチュニア、スターチス、プリムラ、パンジー		500倍	開花前まで/8回		
花き類・観葉植物 (除きく、きんせんか)	<a href="#">ベストガード粒剤</a> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">4 A</span>	3~5g/培土L	培土混和 定植前/1回	総使用 回数 4回以内	
花き類・観葉植物		1~2g/株	生育期株元散布 発生初期/4回		

※1 りんどうのみ散布液量が異なるので注意

※2 オルトラン水和剤、ジェイエース水溶剤の成分アセフェートの総使用回数は5回以内

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

—花き類—

適用病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法(記載無は散布) 使用時期/使用回数	
オオタバコガ	花き類・観葉植物	<a href="#">アファーム乳剤</a> <b>6</b>	1,000倍	発生初期/5回	
		<a href="#">エスマルクDF</a> <b>1 1 A</b>	1,000倍	発生初期/—	
		<a href="#">ディアナSC</a> <b>5</b>	2,500~5,000倍	発生初期/2回	
		<a href="#">フェニックス顆粒水和剤</a> <b>2 8</b>	2,000倍	発生初期/4回	
		<a href="#">プレオフロアブル</a> <b>UN</b>	1,000倍	発生初期/4回	
	花き類・観葉植物 (除きく)	<a href="#">アクセルフロアブル</a> <b>2 2 B</b>	1,000倍	発生初期/6回	
	きく		1,000~2,000倍	発生初期/6回	
オンシツコナ ジラミ若齢幼虫	花き類・観葉植物 (除シクラメン、ア ジアンタム)	<a href="#">カルホス乳剤</a> <b>劇 1 B</b>	1,000倍	発生初期 /4回	総使用 回数 4回以内
カブラヤガ	花き類・観葉植物	<a href="#">カルホス微粒剤</a> <b>劇 1 B</b>	6kg/10a	作条処理土壌 混和 定植時/1回	
カメムシ類	花き類・観葉植物	<a href="#">アディオソ乳剤</a> <b>3 A</b>	2,000倍	発生初期/6回	
クロバネ キノコバエ類	花き類・観葉植物	<a href="#">ディアナSC</a> <b>5</b>	2,500倍	発生初期/2回	
コナガ	花き類・観葉植物	<a href="#">エスマルクDF</a> <b>1 1 A</b>	1,000倍	発生初期/—	
コナジラミ類	花き類・観葉植物	<a href="#">エコピタ液剤</a> <b>—</b>	100~200倍	発生初期/—	
		<a href="#">コルト顆粒水和剤</a> <b>9 B</b>	4,000倍	発生初期/4回	
		<a href="#">スタークル粒剤</a> <a href="#">アルバリン粒剤</a> <b>4 A</b>	1g/株 (30kg/10a まで)	植穴土壌混和 定植時/1回	総使用 回数 5回以内 (土壌混和 は1回以 内)
		<a href="#">スタークル顆粒水溶剤</a> <a href="#">アルバリン顆粒水溶剤</a> <b>4 A</b>	2,000~3,000倍	発生初期/ 5回	
		<a href="#">ディアナSC</a> <b>5</b>	2,500倍	発生初期/2回	
		<a href="#">チェス顆粒水和剤</a> <b>9 B</b>	5,000倍	発生初期/4回	
		<a href="#">ベストガード水溶剤</a> <b>4 A</b>	1,000倍	発生初期/4回	
	花き類・観葉植物 (施設栽培)	<a href="#">ラノーテープ</a> <b>7 C</b>	50 m <sup>2</sup> /10a	作物体の付近に設置する 栽培期間中/1回	
ナメクジ類、 カタツムリ類	ナメクジ類、カ タツムリ類、ア フリカマイマイ、ヒメリンゴ マイマイが加 害する農作物 等	<a href="#">スラゴ</a> <b>—</b>	1~5g/m <sup>2</sup>	ナメクジ類、カタツムリ 類、アフリカマイマイ及 びヒメリンゴマイマイの 発生あるいは加害を受 けた場所または株元に 配置 発生時/—	
	花き類・観葉植物	<a href="#">ナメクリーン3</a> <b>—</b>	1~3kg/10a	株元散布 —/6回	

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

—花き類—

適用病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法(記載無は散布) 使用時期/使用回数
ネキリムシ類	花き類・観葉植物	アクセルベイト 22B	3~6kg/10a	株元散布 生育期/6回
		ガードベイトA 3A	3kg/10a	株元散布 生育初期/6回
ネコブセンチュウ	花き類・観葉植物	ネマキック粒剤 1B	20kg/10a	全面土壌混和 植付前または定植前/1回
		バスアミド微粒剤 ガスタード微粒剤 劇 8F	20~30kg/10a	所定量を均一に散布して土壌と混和する。 (XⅢ土壌消毒 参照) は種または植付前/1回
ハスモンヨトウ	花き類・観葉植物	プレオフロアブル UN	1,000倍	発生初期/4回
		マッチ乳剤 15	2,000倍	発生初期/5回
	花き類・観葉植物 (除きく)	フェニックス顆粒水和剤 28	2,000倍	発生初期/4回
	きく		2,000~4,000倍	発生初期/4回
ハダニ類	花き類・観葉植物	アーリーセーフ -	600倍	-/-
		アグリメック 劇 6	500倍	発生初期/5回
		エコピタ液剤 -	100倍	発生初期/-
		コテツフロアブル 劇 13	2,000倍	発生初期/2回
		サンクリスタル乳剤 -	600倍	-/-
		ダニオーテフロアブル 33	2,000倍	発生初期/2回
		ダニサラバフロアブル 25A	1,000倍	発生初期/2回
		ダニトロンフロアブル 21A	1,000~2,000倍	発生初期/1回
		ダブルフェースフロアブル 25B 21A	2,000倍	発生初期/1回
		粘着くん液剤 -	100倍	発生初期/-
		ニッソラン水和剤 10A	2,000~3,000倍	-/2回
		バロックフロアブル 10B	2,000倍	発生初期/1回
		ポリオキシシAL水溶剤 -	2,500倍	発生初期/8回
		マラソン乳剤 1B	2,000~3,000倍	発生初期/6回

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

—花き類—

適用病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法(記載無は散布) 使用時期/使用回数
ハダニ類	花き類・観葉植物 (除ばら、きく、 カーネーション)	<a href="#">カネマイトフロアブル</a> 20B	1,000倍	—/1回
	きく、カーネーション		1,000~1,500倍	—/1回
	花き類・観葉植物 (除ペチュニア、 スターチス、プリムラ、パンジー)	<a href="#">サンヨール</a> ー	500倍	発生初期/8回
	ペチュニア、スターチス、プリムラ、パンジー		500倍	開花前まで/8回
ハマキムシ類	花き類・観葉植物	<a href="#">アディオン乳剤</a> 3A	2,000倍	発生初期/6回
ハモグリバエ類	花き類・観葉植物	<a href="#">アフーム乳剤</a> 6	1,000倍	発生初期/5回
		<a href="#">ディアナSC</a> 5	2,500~5,000倍	発生初期/2回
		<a href="#">アクタラ顆粒水溶剤</a> 4A	2,000倍	発生初期/6回
	花き類・観葉植物 (除きく)	<a href="#">スタークル顆粒水溶剤</a> <a href="#">アルバリン顆粒水溶剤</a>	1,000倍	かん注(1L/m <sup>2</sup> ) 発生初期/5回
	きく	4A	1,000~2,000倍	かん注(1L/m <sup>2</sup> ) 発生初期/5回
ミカンキイロアザミウマ	花き類・観葉植物	<a href="#">アクタラ顆粒水溶剤</a> 4A	1,000倍	発生初期/6回
		<a href="#">コテツフロアブル</a> 劇 13	2,000倍	発生初期/2回
ヨトウムシ類	花き類・観葉植物	<a href="#">アディオン乳剤</a> 3A	2,000倍	発生初期/6回
		<a href="#">アフーム乳剤</a> 6	1,000倍	発生初期/5回
		<a href="#">オルトラン水和剤</a> 1B※2	1,000倍	発生初期/5回
		<a href="#">コテツフロアブル</a> 劇 13	2,000倍	発生初期/2回
		<a href="#">ノーモルト乳剤</a> 15	2,000倍	発生初期/2回

※2 オルトラン水和剤、ジェイエース水溶剤の成分アセフェートの総使用回数は5回以内

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。